

●調査研究成果の概要 ●所見・成果物、資料

15日【基調講演】

「議会改革の実績と議会力の向上」～政策創造の立法部を考える～
基調講演者 中邨 章氏[明治大学名誉教授]

1. 変わる地方議会

- ・議会基本条例の10年
- ・議員提出条例案件の実績
- ・議会基本条例の意義と成果

2. 改革から政策創造へ 人口減少と地域振興

- ・国内人口の推移と政策展望
- ・予想される将来人口
- ・予想される人口減少と自治体の対応
- ・連携中枢都市構想の背景
- ・連携中枢都市圏構想の登場
- ・「播磨」連携中枢都市圏構想
- ・連携中枢都市圏構想の輪郭
- ・連携中枢都市圏構想の問題点

3. 地域議会のこれから 防災と政策構想

- ・地元選出議員の役割について議論 被災経験との関連
- ・災害と県議への期待
- ・市議の危機対応への期待
- ・議会の防災業務への積極的対応

4. 地方議員の政策チェック 防災対策の再検討

- ① 災害対策本部運営について
- ② 支援物資管理業務
- ③ 広報業務（マスコミ対応など）
- ④ 罹災証明の発行業務について
- ⑤ 応急仮設住宅について

「職員の災害経験を業務に生かす」を妨げる要因

業務継続計画の未整備 指定避難所の欠陥 議員活動—危機情報の啓発

5. 地方議員の政策展望—電子政府への試み

- ・エストニアの経験
- ・電子投票の試み
- ・これからの議員像

【パネルディスカッション】

「議会改革をどう進めていくか」

■コーディネーター 人羅 格 氏（毎日新聞論説副委員長）

■パネリスト 大山 礼子 氏（駒沢大学法学部教授）

金井 利之 氏（東京大学大学院総合政策科学研究科
・政策学部教授）

新川 達郎 氏（同志社大学大学総合政策科学研究科
・政策学部教授）

川西 忠信 氏（姫路市議会議長）

議会改革を議会の中だけで終わらせないために (大山 礼子 氏)

1. 地方議会の危機的状況
2. 議会の改革意欲は住民に届いてない?
3. 選挙制度の改革も視野に
4. 選挙制度改革の論点
5. 議会活動を住民にとって魅力のあるものにするには?

議会改革をどう進めていくか (金井 利之 氏)

1. 議会基本条例について
2. 議会改革の論点
3. 地方議会の将来

議会基本条例と議会改革の展望 (新川 達郎 氏)

1. 議会基本条例と議会改革の現状と課題
2. 議会改革でとりわけ重点をおくべきと考える分野と論点
3. 地方議会の将来を考える

姫路議会の現状と今後の方策 (川西 忠信 氏)

1. 議会基本条例、議会改革の状況の全体的な評価
 2. 議会改革でとりわけ今後、重点を置くと考える分野
 3. 注目している具体的な先進事例
 4. 議員提案の政策条例はどのような分野で広げていくべきか
 5. 地方議員に今後求められる人材とは。また、どのような改革が進められるべきか
- これから議会基本条例を制定する市議会へ

16日【課題討議】

「議会基本条例のこれまでとこれからを考える」

- コーディネーター 新川 達郎 氏
- 事例報告者 目黒 章三郎 氏 (会津若松市議会議長)
- 豊田 政典 氏 (四日市市議会議長)
- 盛 泰子 氏 (伊万里市議会前議長)

市民意見を起点とした政策サイクルとその成果について (目黒 章三郎 氏)

1. 議長選挙で「所信表明会」
2. 請願・陳情者の意見陳述の確保
3. 議員間討議とは
4. 議員間討議の目的

5. 市民の声の政策化
6. 数々の成果

議会基本条例の制定への想い

～議会のあるべき姿の実現に向けて～

(豊田政典 氏)

1. 四日市市のあらまし
2. 四日市市議会基本条例について
3. 四日市市議会基本条例の構想図
4. 基本方針の三本柱
5. 議会基本条例に基づく特徴的な内容
6. 今後実施する取り組み

議会基本条例を通じて、地方自治を考える

(盛 泰子 氏)

1. 伊万里市の位置
2. 市議会の状況
3. 衝撃を受けた言葉①～④
4. 基本条例制定以前から改革例
5. 2016年選挙後 くじ引きで、議長に
「二度と削減を突き付けられない議会」を創ることが、私のミッション
6. 「学ぶ」研修の場づくり
7. 2年間で11回実施
8. 「伝える」定例記者会見
9. 議会基本条例 2017年3月制定
10. 議会基本条例を通じて地方自治を考える
11. 提案
12. 伊万里市民図書館へお出かけください（図書館設置条例を見直しましょう）

感想

制定は全国的には、6割ぐらいで10年目になる議会基本条例は、様々なメリットデメリットもあるようだ。

それぞれのパネリストの方々の持論は参考になった。中でも「議員個人の力を線香花火とすれば、議会の塊の力は打ち上げ花火になる」と話されたことが心に響いた。

今後の活動に活かしていきたい。

5. 市民の声の政策化
6. 数々の成果

議会基本条例の制定への想い

～議会のあるべき姿の実現に向けて～

(豊田政典 氏)

1. 四日市市のあらまし
2. 四日市市議会基本条例について
3. 四日市市議会基本条例の構想図
4. 基本方針の三本柱
5. 議会基本条例に基づく特徴的な内容
6. 今後実施する取り組み

議会基本条例を通じて、地方自治を考える

(盛 泰子 氏)

1. 伊万里市の位置
2. 市議会の状況
3. 衝撃を受けた言葉①～④
4. 基本条例制定以前から改革例
5. 2016年選挙後 くじ引きで、議長に
「二度と削減を突き付けられない議会」を創ることが、私のミッション
6. 「学ぶ」研修の場づくり
7. 2年間で11回実施
8. 「伝える」定例記者会見
9. 議会基本条例 2017年3月制定
10. 議会基本条例を通じて地方自治を考える
11. 提案
12. 伊万里市民図書館へお出かけください（図書館設置条例を見直しましょう）

感想

それぞれのパネリストの方々の持論は参考になった。基本条例の制定は、全国的には6割ぐらいで10年目になる現在、様々な課題が見えてきたとの内容であった。

本市も、議会報告会の参加者の減少や時期と内容等 課題が見えてきたように思われるのではないかと。基本条例だけではなくその他の内容についても、改善を含めた課題と検証が必要だと思う。今回学んだことを今後の活動に生かしていきたい。